



公立大学法人 福島県立医科大学附属病院

P E T 検査室

Positron **E**mission **T**omography

PET/CT・PET/MRI検査
予約の手引き



医療機関様用

予約から検査結果が届くまで

予約当日

（予約申込手順と費用概要は次ページにあります）

- PET検査室に予約の電話またはFAXをしていただき、予約日時の調整をおこないます。
- 診療情報提供書（別紙参照）に必要事項を記入して、PET検査室にFAXしてください。
- 「FDG-PET検査を受けられる患者さんへ」（別紙参照）を用いて患者さんに日時・前処置の確認をしていただき、患者さんにお渡し願います。

検査前日

- PET検査室より患者さんの携帯電話もしくは患者さん宅に注意事項等の再確認のためお電話をいたします。

検査当日

- 患者さんは必要書類をお持ちの上、当大学附属病院総合受付にて受付をおこなっていただきます。
- 受付後、患者さんはPET検査室に移動し、PET検査を受けていただきます。
- 検査終了後、患者さんは会計を済ませてからお帰りいただきます。

検査結果

- 原則検査日の翌診療日に検査報告書（報告書、DVD）を紹介医療機関様へ発送いたします。

公立大学法人 福島県立医科大学 附属病院 PET検査室

TEL. (FAX) 024-547-1383
受付時間 (8:30～17:00)

予約申込手順と費用概算

- ① PET検査室まで電話またはFAXをいただき、日時の調整をします。

TEL.&FAX (PET検査室受付)

024-547-1383 受付時間 (8:30~17:00)

※保険診療適用の判断に困った場合はご相談ください。
(別紙参照: FDG-PET/CT・PET/MRIの健康保険適用)

- ② 診療情報提供書(別紙参照)を記入後、PET検査室へFAXしてください。また原本は患者さんにお渡しいただき、当日PET検査室までお持ちくださるようご説明をお願いします。
- ③ 依頼元の医師より、患者さんに以下の説明・確認をお願いいたします。
- ✓ 費用
 - ✓ 検査日時
 - ✓ 検査当日(または前日)のお薬や食事制限等の説明
(「FDG-PET検査を受けられる患者さんへ」(別紙参照)をご使用願います)
 - ✓ 検査当日は健康保険証と診療情報提供書をご持参の上、当大学附属病院総合受付においでいただき、PET検査終了後は代金をお支払いいただきお帰りいただくこと

費用(保険診療適用とならない場合は、自費診療もしくは検査をお断りいたします)

保険診療適用疾患

一般医療の場合

自己負担額3割

30,000円程度

後期高齢者(75歳以上)の場合

高所得者 自己負担額3割

30,000円程度

年金所得等 自己負担額1割

10,000円程度

保険診療適用外

自費診療の場合

PET/CT検査 : 105,000円程度

PET/MRI検査 : 110,000円程度

診療情報提供書（記入例）

<https://www.fmu.ac.jp/home/renkei/medical/medical03>

より入手可能

記入例 診療情報提供書（兼 P E T 検査依頼書）

公立大学法人福島県立医科大学附属病院 御中

年 月 日

紹介元医療機関の所在地：福島市光が丘

名 称：福島県病院

医師名：医大 太郎

赤枠は記入漏れが多い箇所です。送信前に確認してください。

患者情報	フリガナ フクシマ シロウ	生年月日	1964年 6月 10日
	氏名 福島 二郎	☒ 男 ☐ 女	直近体重※必須 65kg
	住所 福島市光が丘 1 番地		
	電話番号 024 (547) 1111	※携帯電話番号 080 (0000) 0000 (妻)	

西暦をお願いします。

本人の番号でない場合は続柄を記入願います。

臨床診断名	PET/CT・PET/MRI の両方検査可能		PET/CT のみ検査可	
	☐ 脳腫瘍 ☐ てんかん ☐ 頭頸部癌 ☒ 縦隔/胸膜癌 ☐ 肺癌 ☐ 食道癌 ☐ 肝臓癌 ☐ 胆嚢癌 ☐ 腎癌 ☐ 膀胱癌 ☐ 前立腺癌 ☐ 直腸癌 ☐ 乳癌 ☐ 卵巣癌 ☐ 子宮癌 ☐ 骨軟部腫瘍 ☐ 悪性リンパ腫 ☐ 悪性黒色腫		☐ 大腸癌	
IC 状況	☒ 病名(疑い)告知済み ☐ 未告知※患者本人への IC 内容の記載が必須です			
病理診断	☒ あり(☒ 喀痰 ☐ BF/GIF/CF ☐ FNA ☐ 手術 ☐ その他) ☐ なし(検体採取不可だが蓄然性は有り)			
目的	☒ 病期診断 ☐ 再発診断 ☐ 原発巣検索 ☐ その他()			
種別	☒ PET/CT ☐ 撮影や部位に関する特記事項		☒ 保険診療	
	☐ PET/MRI		☐ 自費診療()	
検査不可項目	☒ 下記項目に該当項目がない事を確認済み			
	●閉所恐怖症や仰臥位での静止不可能(PET/CT 30 分・PET/MRI 60 分程度) ●空腹時血糖値 200mg/dL 以上 ●[PET/MRI のみ]MRI 撮影できない体内金属がある			
確認事項	☐ 自力での歩行や移動が不可能 ※付添い必須です		☐ 体内金属あり(留置物:)	
	☐ 認知症あり ※付添い必須です		☐ 禁忌薬剤あり(薬剤名:)	
既往歴	☐ 糖尿病あり ※下記を記入してください		☐ アレルギーあり()	
	血糖値と測定日: 確認事項は、該当あればチェックを入れてください。		☐ 喘息あり	
手術歴	HbA1C と測定日		☐ G-CSF 製剤使用あり(使用日:)	
	治療薬剤名:		☐ 点滴/ドレーン類挿入あり	
実施済の画像検査	☒ 添付資料参照 ☐ 既往歴および手術歴なし		部位の記入漏れ注意願います。	
	☒ CT 2021年 8月 部位 胸		☐ MRI 年 月 部位	
		☐ XP 年 月 部位		☐ その他() 年 月 部位

チェック漏れ注意

確認事項は、該当あればチェックを入れてください。

部位の記入漏れ注意願います。

症状経過、治療経過、現在の処方、画像診断(日時)、腫瘍マーカー等の検査結果情報、IC 情報など ※必須

☒添付資料参照

今年度の健診により見つかった腫瘍です。過去の健診と比較し腫瘍が増大しているため悪性の可能性もあります。

PET 検査を行わなかった場合の経過 ※必須項目となりました

P E T 検査を行わないと腫瘍の悪性度が判断できず術式が確定しない。

<<<下記は医科大学の使用欄です>>>

検査オーダー入力医師	オーダー確認	DVD チェック	ID
年 月 日 医師名			

<https://www.fmu.ac.jp/home/renkei/medical/medical03> より入手可能

(他医療機関患者さん用)

別紙

入院患者さんのFDG-PET検査の場合は、上記に加え以下の点にご留意願います。

- 検査当日は患者さんの状態を把握された医師または看護師がご同行ください。
- 検査所要時間はPET/CTでおよそ2時間(撮影時間はおよそ20～30分)、PET/MRIでおよそ3時間(撮影時間はおよそ60～90分)です。
その間、ご同行された医師または看護師の方は待機をお願いいたします。
- 患者さんはボタンや金具のない服装でお願いいたします。
- 持続点滴が必要な方は、検査4時間前から糖分が入っていない輸液に変更してください。
また、輸液ラインは2m以上でお願いします(ヘアロックでも可)
- 当日は以下の書類を必ず持参してください。
 - ☐ 診療情報提供書兼PET検査依頼書
 - ☐ 入院基本料がわかるもの(任意様式)

※患者さんの検査前管理について十分にご注意ください。

管理状況によっては、検査が出来ないことがありますのであらかじめご了承ください。

公立大学法人 岐阜県立医療大学 PET検査室

裏面:福島県立医大PET検査室までの地図と道順です。

FDG-PET/CT・PET/MRIの健康保険適用

PET/CT

悪性腫瘍 (早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む)	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。(CT以外の検査を行ったが確定できない場合)
てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者に使用する。
心疾患	虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断(他の検査で判断のつかない場合に限る。)、心サルコイドーシスの診断(心臓以外で類上皮細胞肉芽腫が陽性でサルコイドーシスと診断され、かつ心臓病変を疑う心電図又は心エコー所見を認める場合に限る。)又は心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者に使用する。
血管炎	高安動脈炎等の大型血管炎において、他の検査で病変の局在又は活動性の判断がつかない患者に使用する。

※ 腫瘍形成性膵炎の鑑別、原発不明癌を含め、生検が困難な場合は、悪性腫瘍の臨床診断で問題ありません。

PET/MRI

悪性腫瘍 (脳、頭頸部、縦隔、胸膜、乳腺、直腸、泌尿器、卵巣、子宮、骨軟部組織、造血器、悪性黒色腫)	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。(MRI以外の検査を行ったが確定できない場合)
---	---

【健康保険適用症例の選択基準】

- ✓ 病理組織学的に悪性腫瘍と確認されている患者であること。
- ✓ 上記が困難な場合には、臨床病歴、身体所見、PET検査以外の画像診断所見、腫瘍マーカー、臨床的経過観察などから、臨床的に高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断される患者であること。

F D G - P E T 検査の主要装置紹介



シーメンスヘルスケア株式会社製

PET/CT装置 Biograph mCT

- ✓ CT側128Ch, PET側体軸方向視野21.8cmで検査時間を低減
- ✓ TOF, PSF等が実装されており最新の画像処理で精度の高い診断に寄与することが可能

シーメンスヘルスケア株式会社製

PET/MRI装置 Biograph mMR

- ✓ 本邦初導入の装置で、現在でも国内で保険診療に使用されている数少ない装置である
- ✓ MRI側3T, PET側体軸方向視野25.8cmで真の同時収集をおこなえる



住友重機械工業株式会社製

小型サイクロトロン CYPRIS HM-20

- ✓ 陽子20MeV, 重陽子10MeVまで加速可能
- ✓ FDGで使用する ^{18}F 以外にも、 ^{11}C , ^{13}N , ^{15}O も製造可能

住友重機械工業株式会社製

放射性薬剤投与器 AI300

- ✓ 正確な投与量、容量を繰返し投与可能
- ✓ 連続投与方式を採用し、投与準備時間も短い

